

善光寺(長野市)

宝篋印塔(1397年造立)/伝 佐藤兄弟(義経の忠臣)供養塔





六地藏







六地藏

六地藏は、われわれ衆生が
輪廻を繰り返す六つの世界
(六道)に現れ、迷いや苦し
みから衆生を救ってくださ
る菩薩です。向かって右か
ら、地獄界・餓鬼界・畜生
界・修羅界・人界・天界の地
蔵菩薩です。地獄界の地藏
菩薩が蓮台から片足を踏
み出しているのは、一刻も早
く衆生を救いに行こうとい
うお気持ちの顕れだと言わ
れています。



ROKU JIZO (Six-Ksitigarbha)

육지장 / 六地藏菩薩 / 六地藏菩薩

Jizo-Bosatsu are very popular among Japanese people. They are our protectors of the next six realms. All souls must transmigrate through realms until they attain enlightenment. Each of these Jizo protects one of the six realms.

The six realms are : Hell, Hungry Ghosts, Animals, Asura, Humans and Heavenly beings.





千人塚





千人堀の石灯籠
江戸時代初期の遺構で、
にせつ、お茶屋、お茶屋、
の資料を記して置かれた
碑といわれています。また、
堀の周囲には、お茶屋、
堀、二十八層で築かれた
大天守の遺構といわれ
ています。



KONKINZEKA MONUMENT
江戸時代初期の遺構で、
にせつ、お茶屋、お茶屋、
の資料を記して置かれた
碑といわれています。また、
堀の周囲には、お茶屋、
堀、二十八層で築かれた
大天守の遺構といわれ
ています。

松代藩真田家の古塔







松代藩真田家の 古塔

江戸時代に善光寺の外護職を務めた松代藩の藩主、真田家の供養塔です。松代藩は善光寺を保護すると共に篤く信仰していました。境内東部には重臣らの供養塔も現存しています。松代と善光寺とのご縁は今も深く、七年に一度の善光寺御開帳の折には、本堂前に建つ大回向柱の用材を松代町が毎回寄進しています。



OLD MONUMENT TO SANADA FAMILY

마쓰시로번 사나다가 고탑 / 松代藩主真田家古塔

This monument consoles the feudal lords, Sanada in Matsushiro area who had been in charge of protecting Zenkoji during the Edo era. The people in Matsushiro clan have kept strong faith in Zenkoji. Event today these people hold strong ties with Zenkoji. They will donate a huge memorial pillar at the time of Gokaicho the biggest event of Zenkoji in every 7 years.

高尾燈籠







高尾燈籠

江戸吉原の三浦屋四郎左衛門が奉納した燈籠です。三浦屋は吉原にあった遊郭で、遊女高尾太夫の供養塔として造立されたと昔より言われております。



TAKAO LANTERN

다카오 등롱 / 高尾灯籠 / 高尾燈籠

This lantern was donated in Edo era by the owner of a pleasure house called Miura-ya, in the red-light district of Yoshiwara in present Tokyo. It has been said the lantern was dedicated as a prayer for the repose of the spirit of Takao, a famous courtesan of Yoshiwara.